

地域文化の創造を重視する和文化教育

日程 令和六年二月二四日(土)
実施方法 オンライン

第二〇回 全国大会 和文化教育 オンライン九州大会

和文化教育学会

受付	(9:00-9:15)	オンライン九州大会入室開始
開会行事	(9:15-9:25)	大会実行委員長挨拶 学会会長挨拶
開会アトラクション	(9:30-9:45)	熊本県指定文化財「宮本武蔵像」修復過程紹介(島田美術館)
研究・実践発表	(9:55-12:20)	第1分科会～第4分科会
昼食 理事会・総会	(12:25-13:25)	理事会・総会合同会議
基調講演	(13:30-14:30)	伝統文化教育の現状とこれからの方向性 高橋 由香 (文化庁学校芸術教育室長)
シンポジウム	(14:35-16:35)	九州の各地域に根差した和文化教育の実践 司会 永添 祥多 (近畿大学産業理工学部) シンポジスト 山田 真太郎 (福岡県行橋市立行橋中学校) 小島 摩文 (鹿児島純心大学) 前川 博 (佐賀県立唐津青翔高等学校) 飯田 周恵 (佐賀県立名護屋城博物館)
閉会行事	(16:35-16:40)	学会理事長挨拶 高橋 由紀 (文化庁学校芸術教育室長) 中村 哲 (桃山学院教育大学)

令和5(2023)年度 第20回和文化教育全国大会オンライン九州大会要項

開催趣旨

九州地方は中国大陸や朝鮮半島と地理的に近いため、古代から国際文化交流が盛んに行われてきた。その結果、地域的に独自の文化が創造され、発展してきたという歴史的経緯がある。このような歴史的背景を踏まえて、本大会では、九州各地の地域性に根差した独自の文化の創造と和文化教育を大会テーマにして、今後の和文化教育の在り方と意義を明らかにしたい。

テーマ

地域文化の創造を重視する和文化教育

主催 後援等

主催 第20回和文化教育全国大会(オンライン九州大会)実行委員会
和文化教育学会
後援 文部科学省 日本教育新聞社 行橋市教育委員会
佐賀県 佐賀県教育委員会 佐賀新聞社

実施方法

オンライン

「オンライン九州大会事務局」
〒840-0806 佐賀県佐賀市神園3丁目18-15
西九州大学(佐賀キャンパス) 松井 克行
メールアドレス: matsuka@nisiky-u.ac.jp

日程

9:00 -9:15	9:15 -9:25	9:30 -9:45	9:55 -12:20	12:25 -13:25	13:30 -14:30	14:35 -16:35	16:35 -16:40
受付	開会行事	開会アトラクション 熊本県指定文化財「宮本 武蔵像」修復過程紹介	研究・実践発表	昼食(理事会・総会)	基調講演 伝統文化教育の現状と これからの方向性	シンポジウム 九州の各地域に根差し た和文化教育の実践	閉会行事



星座を旅して ファッションショウ!!
山折 哲雄



空はいつも青天井 頑張ろう!!
梶田 敬一



Mind of Wa
中村 哲



プロジェクトQRコード

1 研究発表 (9:55-12:20) [発表20分 質疑5分 インターバル5分]

第1分科会

司会 森田雅也(関西学院大学) 岡崎均(大阪体育大学)

- ①詩吟が果たす教育的役割についての一考察
井上 寿美(奈良教育大学大学院)
- ②百人一首競技かるたの普及と現代社会の関係性を考察-競技活動の環境をアートの視点でランドデザインを探る-
藤原 昌樹(代表) 他(桃山学院教育大学)
- ③絵双六の教育的活用
谷 明子(双六読書会・小さな靴あと)
- ④Using Words to Make Art-日本の大学生を対象とする英語俳句の教材と教え方-
デッカー・ウォーレン(桃山学院教育大学)
- ⑤英語教育における日本文化発信の取組~大阪体育大学教育学部の一実践~
吉田 雅子(大阪体育大学教育学部)

第2分科会

司会 鈴木正敏(兵庫教育大学) 阿部弘生(東北文教大学)

- ①戦後武道教育の経緯と課題
竹繁 諒真(武庫川女子大学社会情報学部)
- ②和文化教育における学習教材の開発-浮世絵版画の試み-
犬童 昭久(九州ルーテル学院大学)
- ③伝統文化教育のウェブ学習基地の構築と活用
中村 哲(桃山学院教育大学)
- ④和文化教育としてのWEB教材の開発と課題~茶道の教材化の事例をもとに~
梶井 大輔(大谷大学教育学部)
- ⑤グローバル文化シンボルとしての「城郭」ウェブ学習教材の開発-歴史文化のメタ認知を通して-
守谷 富士彦(桃山学院教育大学)

第3分科会

司会 神永典郎(白百合女子大学) 松岡 靖(京都女子大学)

- ①図画工作としての地域社会における文化創造の試み-廃棄素材を用いた授業事例を手がかりに-
宗實 直樹(関西学院初等部)
- ②小学校社会科教科書資料をもとにした和文化教育実践の可能性
佐藤 正寿(東北学院大学文学部)
- ③社会科教師の子どもに関する信念の形成過程-子どもの日記に対する長岡文雄の言説の分析から-
漆畑 俊晴(兵庫教育大学連合大学院・静岡市立竜爪中学校)
- ④文化価値創造の視点を組み込んだ社会科授業開発-東井義雄「村を育てる教育」を手がかりにして-
末永 琢也(兵庫県三木市立広野小学校)
- ⑤道徳科の教材としての日本の神話-『古事記』をベースとして-
森 一郎(元神戸市立高等学校)

第4分科会

司会 赤堀博行(帝京大学) 吉津 晶子(熊本学園大学)

- ①川内大綱引の継承と教育への活用
霧島 一浩, 上園 喜史(薩摩川内市川内歴史資料館・川内まごころ文学館川内大綱引保存会)
- ②小学校における伝統芸能『山田楽』の継承と教育的意義
藤崎 隆博(鹿児島県阿久根市立脇本小学校)
- ③唐津市立名護屋小学校と韓国との交流事業の盛衰と今後の可能性について
松井 克行(西九州大学)
- ④文化体験学習を支える教員の育成-まち講座の企画運営を通して-
向井 隆盛(埼玉県行田市立南小学校)
- ⑤福岡県における伝統楽器の社会教育の実態-生田流箏を例として-
劉 一葉(九州大学大学院)

2 基調講演 (13:30-14:30)

「伝統文化教育の現状とこれからの方向性」

高橋 由紀 文化庁参事官(芸術文化担当)付学校芸術教育室長

3 シンポジウム (14:35-16:35)

「九州の各地域に根差した和文化教育の実践」

- 司会 永添 祥多 (近畿大学産業理工学部)
 シンポジスト 山田 真太郎 (福岡県行橋市立行橋中学校)
 小島 摩文 (鹿児島純心大学)
 前川 博 (佐賀県立唐津青翔高等学校)
 飯田 周恵 (佐賀県立名護屋城博物館)
 コメンテーター 高橋 由紀 (文化庁学校芸術教育室長)
 中村 哲 (桃山学院教育大学)

大会 WEBサイト

令和5(2023)年度 第20回和文化教育全国大会オンライン九州大会のWEBサイトを開設します。

<https://www.wabunka.online>

閲覧の場合には、QRコードの利用か、URLの直接入力をお願いします。このサイトから大会参加申込が可能です。またオンライン参加、研究発表、シンポジウム、理事会・総会資料等を掲載します。



参加申込QRコード

参加 方法

WEBサイトから参加申込をされた方には、令和6年2月20日(火)までに参加URLをメールにてお送りします。なお、WEBサイトの利用をされない方は、大会連絡先のメールに氏名と所属を記載し、送付される申込の方法も可能です。

参加費

会員 3,000円 (令和6年2月20日までに参加費の納入者は2,500円)

会員外 1,000円

学生等 無料

プロジェクト支援 1口 500円 (口数に応じて、鯉のぼりを進呈)

なお、ご入金のお返しはできませんので、ご了承ください。

グローバル文化シンボル鯉のぼりプロジェクトの紹介とお願い

<https://www.rawace.org/project.htm>



プロジェクトQRコード

参加費等 の送金先

《銀行振込口座》みなと銀行 社支店 (325)

普通預金 口座番号 3817159

(個人名での送金をお願いします。大会参加費の送付先は、学会費の送付先の郵便口座とは異なります。)

大会 連絡先

〒840-0806 佐賀県佐賀市神園3丁目18-15

西九州大学 (佐賀キャンパス) 松井 克行

メールアドレス: matsuika@nisikyu-u.ac.jp

